

(公表用様式)

業務再点検結果報告

組織名	関東農政局 那珂川沿岸農業水利事業所	連絡先	029-227-7571
所管する業務の概要	茨城県水戸市外3市3町1村の農業地域を受益地として、農業用水の安定的な供給を図ることにより、農業経営の近代化と安定化に資することを目的として、ダム、用水路等の農業水利施設の建設を実施		

1. 基本的な心構え・行動	
・現在行っている取組や工夫	・点検によって得られた課題とその改善策
「接遇マニュアル」を参考にして、積極的な挨拶の励行、相手に不快感を与えない身だしなみや相手の立場を尊重した接遇を心がけている。	接遇態度が相手に好感を持たれるレベルに達しているか、定期的に「接遇マニュアル」でチェックするなど自己点検を行っていく必要がある。
勤務時間中は「ビジョン・ステートメント」が書かれたネームプレートを常時着用し、農林水産省職員の一員としての自覚とモチベーションを高めている。	農山村の現状と課題、消費者ニーズ、世界の食糧事情などをしっかり把握し、何がこの地域に必要な施策なのか、職員の見識を深めていく必要がある。

2. 政策・事業等の企画立案・推進	
・現在行っている取組や工夫	・点検によって得られた課題とその改善策
関係機関の担当者や地権者に接する際には、用件以外にも農政に関する話題等を取り上げて、相手の潜在的ニーズや不満をいち早くくみ取り、一步先の行動を心がけている。	職員個々に事業の必要性、有益性について、国民視点に立って再認識する必要がある。
地元説明会の開催に当たっては、親切、丁寧、正直を基本として、聞く人の立場に立った分かりやすい資料の作成及びポイントを絞り専門用語を使わない説明を心がけている。	

3. リスク管理	
・現在行っている取組や工夫	・点検によって得られた課題とその改善策
<p>所内会議で「ヒヤリ・ハット事例集」を紹介し、個々の業務に潜むリスクの洗い出しと、顕在するリスクを回避するための方策を検討している。</p>	<p>単発的な点検で終わることなく、定期的に「ヒヤリ・ハット事例集」を取り上げて、リスク回避策を話し合うこととする。</p>
<p>地権者が発した一言の中にリスクの芽が潜んでいることがあるため、その言葉を漏らさず、また、発言のきっかけとなった事実関係も含めて正確に記録し、情報を共有している。</p>	<p>思いこみや前例にとらわれず、常にリスクを想定しながら、日々の業務を進めるためには、リスクの顕在化していく過程や結果の重大性などを分析したり、議論しあうことが必要である。</p>

4. その他の重要な取組	
・現在行っている取組や工夫	・点検によって得られた課題とその改善策
<p>地域のイベントや共同活動に参加して、多くの地域住民とふれあい、当事業の役割などをPRすることにより、職員のモチベーション向上を図っている。</p>	<p>多くの職員が地域のイベントや共同活動に参加するためには、職員の意識改革と共に、深夜までの残業や休日出勤とならないよう更なる業務の効率化、平準化に取り組む必要がある。</p>
<p>関係機関の長と定期的な情報交換・意見交換を行いながら、関係市町村長等に各種農業施策を分かりやすくPRしている。</p>	